

公式記録用紙 記入要領

記録員は目立たないようですが、誤りが発生するとゲームの長時間中断を招くなど影響が大きく、責任ある仕事ですので、集中して円滑なゲーム進行に協力してください。

- 【1. トスの後】**
- ① トスにより得たコートサイドが記録席より向かって左がA、右がBで表記。試合を通してA・Bは固定
 - ② トスによりサーブ権を得たチームは「S」に×。レシーバチームは「R」に×
 - ③ 公式練習中にスターティングラインアップシートを監督または副審より受け取り、先発メンバー欄に記入
 - ④ 公式練習中に登録選手と実際に居る選手のゼッケンに誤りがないかチェックする。

- 【2. ゲーム開始時】**
- <サーブ順の確認>
- コート中央の選手の並び順と「先発メンバー」欄に相違なければ、チームそれぞれに副審にOKを合図
- ① 最初のサーバーの「1」に×を入れた後、サーバーを目視確認し、サーバーにボールが送られたら、両手を挙げて、ゲーム始めてOKを合図
 - ② セット最初のサービス許可の吹笛時刻を「開始」欄に
 - ③ チームが得点を得る毎に数字を/線で消す
 - ④ 得点盤の表示が正しいかも随時チェックする
- ※得点盤の表示誤りは副審を通じて訂正する。

- 【3. ラリー中 サーブ権の移動】**
- ① 失点により相手にサーブ権が移動した時点のそれまでにチームが得た点数を記入
 - ② 得点を得た相手チームの得点1を/線で消す
 - ③ サーブ権を得たチームの次のサーバーの「1」に×印。実際にサーブに向かう選手が正しければ主/副審にうなずきサーブ順OKを合図をする
⇒※コソ 現在のサーバーの欄を指で押さえているとサーブ順の誤りに気づきやすい。
 - ④ <サーバー誤り時>副審を通じて「順番が違っている」ことを教える。サービストス前ならば罰無しで交代可
 - ⑤ サーバートスの失点により相手にサーブ権が移動した時の自チームの得点を数字で記入
 - ⑥ 相手チームの得点に/線。次のサーバーに×印
以下 ③⇒②⇒④ の繰り返し

- 【4. 選手交代】**
- ① 選手交代の要求を副/主審が許可した場合コートに入ろうとする選手が正規な選手を確認したら「片手を挙げてOKの合図」し、退く選手の下背番号欄に交代者の背番号を記入
 - ② その時の要求したチーム得点を左側に、相手チームの得点を右側に記入
書き終えたら両手を挙げて記録完了の合図
 - ③ 再びこの選手同士を戻す交代の時
◆再びこの選手同士を確認したら「片手を挙げOKの合図」
退く選手の下背番号（記入例では9）を○で囲み
 - ④ その時の両チームの得点を2段目に記入
書き終えたら両手を挙げて記録完了の合図

- 【5. タイムアウト】**
- ① タイムアウトの要求を副/主審が許可した場合要求したチームの側の得点をタイムアウト欄左側に記入。相手チームの得点を同欄右側に記入
 - ② 次のサーバーの背番号を副審に口頭で告げ30秒後、タイムアウト終了を副審が吹笛した後両手を挙げてゲーム開始OKの合図
- <セット終了間隙>
- ラスト1ポイント（20点目、14点目）の時、記録は得点板が間違いない事うなずいて合図する。

- 【6. セットの終了時】**
- ① 最終ポイントの主審の判定後、得点21を/線で消しセット終了のハンドシグナルを副審に対し送る。
 - ② そのチームの最終得点の時刻を記入する
 - ③ 両チームのセットのチェック欄の最終得点を○で囲む
相手チームの失点により最終得点を得た場合は次のサーバーの欄に×印なしで21を記入し○で囲む
 - ④ /で消されなかった得点は×で消す
 - ⑤ 次のセット開始時刻は必ず前セット終了の3分後

大会名 岐阜県小学生選抜大会		試合番号	開催日 2014年4月26日	試合設定時間 14:00
開催地 各務原市		男子 <input type="checkbox"/> 女子 <input checked="" type="checkbox"/>	対戦カード A ^主 B ^客 (B) 第五少年団 対 第一少年団	A ^主 B ^客 (A)
会場名 蘇原小学校体育館				

開始 14:00	チーム 第一少年団 (A)	得点 (B) 第五少年団	終了 14:22	得点
サービス順	I II III IV V VI			
先発メンバー	1 3 2 10 5 6	6 1 2 8 11 12		
競技者	番号	番号	番号	番号
交代	得点	得点	得点	得点
1回目	5回目	18:6		
2回目	6回目			
3回目	7回目			
4回目	8回目			

開始 14:25	チーム 第五少年団 (B)	得点 (A) 第一少年団	終了 14:57	得点
サービス順	I II III IV V VI			
先発メンバー	6 1 2 8 11 12	1 3 2 8 5 6		
競技者	番号	番号	番号	番号
交代	得点	得点	得点	得点
1回目	5回目	11:11		
2回目	6回目			
3回目	7回目			
4回目	8回目			

開始 15:00	チーム 第五少年団 (B)	得点 (A) 第一少年団	終了 15:15	得点
サービス順	I II III IV V VI			
先発メンバー	6 1 2 8 11 12	6 3 2 8 1 5		
競技者	番号	番号	番号	番号
交代	得点	得点	得点	得点
1回目	4回目			
2回目	5回目			
3回目	6回目			

【特記事項】	
審判員とサイン欄 審判 氏名 都道府県 サイン 主審 副審 記録員	
最終結果 チーム 第一少年団 (A) (B) 第五少年団 チーム タイムアウト 勝 得点 セット(時間) 得点 勝 競技者交代数 タイムアウト 0 1 1 21 I (22) 8 0 0 0 0 9 0 18 II (32) 21 1 1 1 0 0 1 17 III (15) 15 0 0 2 0 10 2 56 セット(69) 44 1 1 3 試合開始時刻 試合終了時刻 10 h 00 min 1 h 15 min 1 h 15 min 勝利 第一少年団 2:1	

- 【7. 第3セット (15点マッチ)】**
- ① 第3セットでは改めて記録席前で両キャプテンを招きトスを行う。
 - ② 左側チームの先発メンバーは、セット開始前に右端へも転記しておく
同様にタイムアウトや、選手交代の記録も、左端の記録を右端へ転記する。
 - ③ 一方のチームが7点を得た時に、あと1点でコートチェンジの意味で主審・副審とアイコンタクト（うなずき）8点目に入った左側チームの記録を右側に移り、続きから記入
 - ④ コート交代時の点数欄（右側欄右上）に左側チームの点数を記入し、続きのサーブ欄から記入を始める
 - ⑤ チェンジコート時までに得た得点は逆Tの字で消し、続きの得点から/線で消す
- 【8. ゲーム終了】**
- ① 最終ポイントの主審の判定後、最終得点を/線で消し、セット終了のハンドシグナルを副審に送る
 - ② 最終得点の時刻を「終了」に記入する
 - ③ 各々のチームの最終得点を○で囲む
 - ④ /で消されなかった得点は×で消す
 - ⑤ 勝利チーム欄を記入したらチームキャプテンのサインをもらう
（本来は記録完成後にもうべきだがチームが立ち去る前にもうってもらう）
 - ⑥ 最終結果欄も含め記録が完成したら、記録→副審→主審順にサイン（それぞれが記入誤りがないかチェックし認める意味でサイン）

- 【その他】**
- 記録員は記入が終わっている時は、顔を上げています。
 - 主審は記録員が下を向いて記入・修正・確認していると思われる場合、サーブが許可できず「待ち」状態になるため。
 - 記録員は青のボールペンと定規を持参使用する。記入にあたっては青ペンを使用するが、コピーしたときに、原本と複写の区別をするため。
 - 記入誤りの訂正は二重線で行います。